

# その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



**(注)** この表の内容に関連する電話ガイドとその他のマニュアルには、  
[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c\\_ipphon/index.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm) からアクセスできます。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
自分の電話回線で処理できるコールを増やす	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
秘書と仕事をしている（または自分が秘書である）	共有回線を使用することを検討します。	P.28の「共有回線の使用」を参照してください。
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で 사용할ことができます。	P.28の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
<p>電話機やオフィススペースを同僚と共有している</p>	<p>次の機能の導入を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンション モビリティ：共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザプロフィールを適用できます。</li> </ul>	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• P.25 の「応用的なコール処理」</li> <li>• P.28 の「共有回線の使用」</li> <li>• P.32 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」</li> </ul>
<p>自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する</p>	<p>Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。</p>	<p>P.32 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」を参照してください。</p>